

University of Hradec Kralove (UHK)
フラデツ・クラロヴェ大学
2026 年度 留学報告書
高知工科大学 経済マネジメント学群 4 年
吉村 真人



1. はじめに

私は、2025 年 9 月から 2026 年 5 月までの約 9 か月間、チェコ共和国のフラデツ・クラロヴェ大学 Faculty of Informatics and Management (FIM) へ交換留学をしました。

留学を志望した経緯

私は将来、日本と世界を繋ぐ仕事がしたいという想いがあり留学したいと考えました。フラデツ・クラロヴェ大学を選んだ理由は、英語で履修できる国際貿易やマーケティングの授業が充実しているからです。ヨーロッパ、アジア、アフリカ、アメリカなど世界各国から学生が集まっている学校であり、日本人も少ない環境であるため、授業だけでなく日常生活においても英語で積極的にコミュニケーションを取る機会が多く、自身を大きく成長させることができると考えました。

期間

大学 3 年次 9 月から、当初は 1 学期間学び、1 月末に帰国する予定でしたが、留学生活を通してさらに専門分野への理解や海外での生活経験を深めたいと考え、2 学期間へ延長し、4 年次の 5 月末に帰国しました。

Erasmus 奨学金について

今回の留学では、Erasmus 奨学金を受給することができました。奨学金によって生活費や渡航費の負担が軽減され、経済的な不安を抑えながら学業に集中できる環境が整いました。また、現地での文化体験や課外活動にも積極的に参加することができ、留学生生活をより充実したものにする大きな支えとなりました。

出発前の準備

留学決定後、学生ビザの申請準備に取り掛かりました。必要書類をそろえた後、在日チェコ共和国大使館で申請を行いました。私は7月上旬に申請し、渡航予定日のわずか3日前に許可が下り、パスポートが返却され、予定どおりチェコへ渡航することができました。

2. 学校について

私が所属していた Faculty of Informatics and Management (FIM) のキャンパスは学生寮から約 2km の場所にあります。私はバスで通学していましたが、雪が溶け春になると、自転車で通学する学生もいました。

キャンパス内には自習スペースやラウンジが充実しており、授業の合間の休憩や課題、グループワークなどで利用できます。学生同士が自然と交流できる環境が整っており、学習に集中しやすいキャンパスでした。



印象に残った授業

International Trade

基本的な国際貿易の理論や比較優位性については、KUT にて英語で学んでいたため、理解がしやすかったです。しかし、貿易のポリシーやリスクヘッジについては初めて学ぶ内容で専門用語が多かったため、非常に難しいと感じました。他の留学生も同じように苦戦しており、お互いに説明し助け合いながら単位を取得することが出来ました。

Marketing

この授業には世界各国から多くの留学生が参加します。授業では、ある製品やサービスについて「自国ではどのようなマーケティングが行われているか」というテーマで議論する機会が多くありました。

同じ商品であっても国によって販売方法や広告戦略、消費者の価値観が大きく異なることを知り、多様な視点からマーケティングを考える力を養いました。また、自分の考えを英

語で伝え、異なる意見を持つ学生と議論する経験は、専門知識だけでなくコミュニケーション能力の向上にも繋がったと思います。

Czech Language for Foreigners 1

この授業は、留学生のためのチェコ語の授業です。受講生のほとんどが初心者だったため、あいさつや自己紹介など基礎的な内容から学習を始めました。

授業ではペアワークや会話練習が多く取り入れられており、留学生同士が交流を深める良い機会でした。英語を介して第三言語を学ぶという、面白い経験ができるのでおすすめです。

3. 生活について

寮生活

私は1学期目に、日本人2人、韓国人1人、チェコ人1人の計4人で生活し、キッチンやシャワー、トイレなどの共用設備を共同で利用していました。

2学期目は、さらに多様な国籍の学生と生活したいと考え、寮の管理課へ部屋の変更を申請しました。その結果、日本人1人、ポーランド人2人、ブルガリア人1人、韓国人2人の計6人で共同生活を送ることができました。

生活習慣や価値観の違いから戸惑う場面もありました。しかし、自分の考えを伝えるだけでなく、相手の文化や生活習慣について積極的に尋ね、お互いを理解しようと努めることで、より良い生活環境を築くことができました。この経験を通して、多様な価値観を持つ人々と生活する上では、自分の意見を伝える力と同時に、相手を理解し尊重する姿勢も同じくらい重要であることを実感しました。



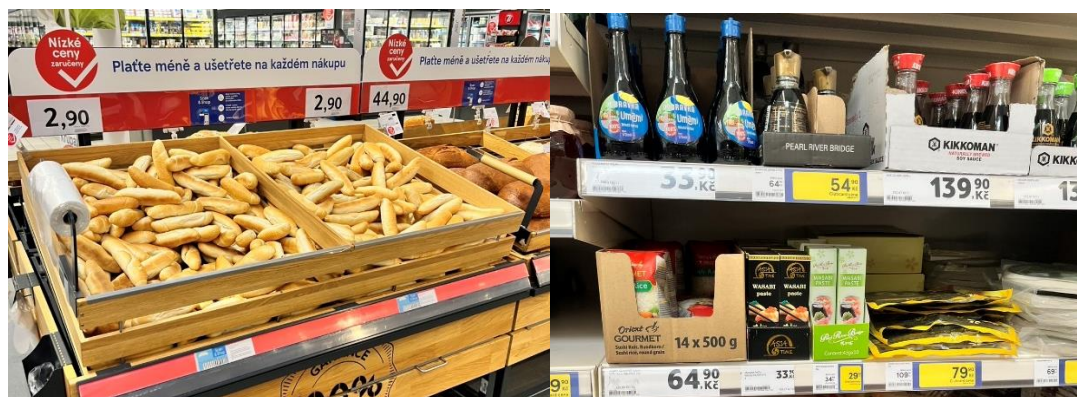
食生活

チェコでは、自炊を中心とした生活を送りました。共用キッチンルームをルームメイトと譲り合いながら利用し、ほぼ毎日自分で食事を作っていました。

寮の周辺には複数のスーパーマーケットがあり、乳製品やパン、野菜などは日本と比べて比較的安価でした。日本ではあまり見かけない食材も多く、日本との食文化の違いを感じる機会となりました。

日本食はスーパーのアジア食品コーナーにありましたが、価格は日本の約2倍と高く、頻繁に購入することはできませんでした。そのため、日本から持参したみそ汁や即席ラーメンを食べた際には、慣れ親しんだ味に心が落ち着き、日本食のありがたさを改めて実感し

ました。また、日本食をルームメイトに紹介したことをきっかけに自然と会話が生まれ、日本の食文化について話す機会にもなりました。日本食は気分転換になるだけでなく、異文化交流を深めるきっかけにもなり、日本から持参して良かったと感じました。



授業外の活動

授業のない日や長期休暇には、積極的にチェコやヨーロッパならではの文化に触れるよう心掛けました。学生割引を利用することで、プラハへの電車やヨーロッパ各国への航空券を安く購入することができました。そのため、週末や長期休暇にはチェコ国内の都市やヨーロッパ各国を訪れ、フラデツ・クラロヴェとは異なる街並みや雰囲気に触れることができました。



スポーツ観戦やオペラ、オーケストラのチケットも手頃な価格で購入できました。特に印象に残っていることは、野球好きの留学生と一緒にチェコ国内の野球を観戦したことです。私は小・中・高校で野球部に所属しており、長年取り組んできた野球が、言語や文化の違いを越えて人とつながるきっかけとなりました。野球を通し留学生と交流を深めることができ、スポーツには国境を越えて人と人をつなぐ力があることを実感しました。また、チェコの国民的スポーツであるアイスホッケーを観戦しました。大学近くのアリーナでは多くの観客が熱狂的な応援を繰り広げ、試合の迫力や会場の一体感に圧倒されました。日本ではなかなか経験できないスポーツ文化を肌で感じるできるので、おすすめです。



ESN という学生団体が企画するイベントにも参加しました。

そこでは、授業では出会うことのない他学部の学生とも交流を深めることができました。国籍や学部を超えて多くの学生とイベントを楽しみ、交流を深めた経験は、留学生活の中でも、忘れることのできない思い出となりました。



4. 就職活動について

留学前には夏季インターンシップへ積極的に参加し、企業研留学中も就職活動を継続できるよう準備を行いましたが、実際には学業と就職活動の両立に苦労しました。日本との時差の影響で、企業説明会や面接が深夜や早朝に実施されることも多く、授業や課題とのスケジュール調整は容易ではありませんでした。

帰国後には本選考が本格化したため、留学中からエントリーシートの作成や企業研究を進めておくことの重要性を強く実感しました。留学と就職活動を両立するためには、早い段階から計画的に準備を進め、限られた時間を有効に活用することが不可欠であると感じました。

留学中にはロンドンで開催されたロンドンキャリアフォーラムにも参加しました。海外で活躍する社会人や日系企業の担当者から直接話を伺うことができ、業界や企業への理解を深める貴重な機会でした。イベントの存在を知ったのが開催直前だったため、十分な企業研究や履歴書の準備ができず、企業への応募や面接には参加できませんでした。この経験から、ロンドンキャリアフォーラムへの参加を検討している学生は、事前に情報収集を行い、志望企業をある程度絞った上で、履歴書や企業研究を準備しておいた方がいいと思います。



5. 最後に

今回の約9か月間の交換留学では、多くの困難や苦労もありましたが、それ以上に多くの学びと成長を得ることができました。

留学前には、インターネットや書籍を通してチェコやヨーロッパについて調べ、自分なりに現地での生活を想像していました。しかし、実際に現地で生活し、多くの国や地域を訪れたことで、その想像は大きく変わりました。実際にその土地を訪れ、自分の目で見、現地の人々と交流しながら生活することでしか得られない気づきや学びが数多くありました。この経験を通して、未知の環境にも積極的に挑戦し、自ら行動することの大切さを改めて実感しました。

最後に、留学前の手続きから留学中、帰国後まで丁寧にサポートしてくださった国際交流課の皆様、そして留学期間中もこまめにご連絡をくださり、留学生活や進路について親身にご相談に乗ってくださった小谷教授をはじめ、支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

皆様の温かいご支援のおかげで、充実した留学生活を送ることができました。

この留学で出会った多くの人々や、そこで得た経験・学びを大切な財産として、今後の人生に生かしていきたいと思っています。

